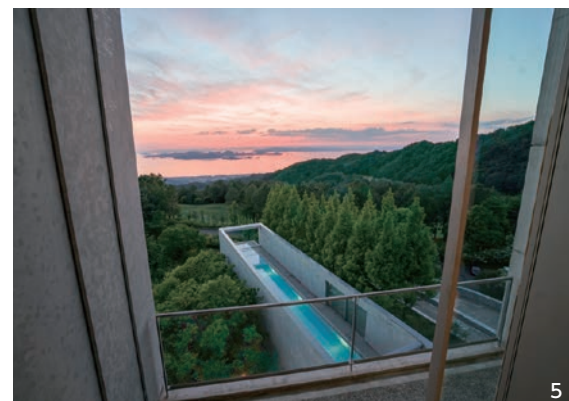


1.アメリカを代表するミニマルアートの作家、フランク・ステラの作品が飾られている、美術館の名残があるダイニング。カウンターのほかにはテーブルもある。2.元は美術館の入口だった、静かな佇まいのホテルエントランス。3.全7室がすべて違うタイプの部屋。こちらは寝湯や半露天温泉の付いたスイートルーム。高台のパノラマビューが楽しめる。4・5.長くのびたインフィニティプール。その先には、瀬戸内の海と刻々と変わる空。絶景が広がる。

「広い敷地に7室のみ、美術館で食事を楽しんでいるような設計にした。」

「広々と作られたお部屋で大きな窓から見える景色と贅沢に建てられた安藤忠雄建築を楽しみに、ホテルへいらっしゃるリピーターの方も増えてきています」



いたのですが、美術館の入館料金について市民は無料だったそうで、かなり採算が厳しい。でも、この素晴らしい建物を取り壊すのは忍びない……。そこで、ゲストハウスを有効に活用することになったのだそうです」と話すのは、現在ホテルの総支配人を務める吉成太一さん。

ゲストハウスであった全7室はモダンでシンプルな部屋に改装し、新たに温泉を引いた。どの部屋もすべて趣が違う作りだ。美術館エリアであったスペースは、カウンターを設置した明るいダイニングフロアに改装。当時のコレクションを飾り、美術館で食事を楽しんでいるような設計にした。

インフィニティプールと温泉水プール、そして美術館まであった。当時も、採算度外視の建物ですよね。ただ、リノベーションをするにあたり、当初のオーナーの『純粋に客人をもてなす場』という考え方を残して、部屋数を多くしませんでした。結果、プライベートが守られ、ゆったりとした時間を過ごしていただけのホテルに生まれ変わったと思っています」

Information

■瀬戸内リトリート 青風
連絡先／089-977-9500
受付時間／10:00 - 19:00
住所／愛媛県松山市柳谷町 794-1
<https://www.setouchi-aonagi.com/>

museum



愛媛

瀬戸内リトリート
青風

客人をもてなす美術館がラグジュアリーホテルに。

瀬戸内の海を一望できる高台に建つ
スモールラグジュアリーホテル、
「瀬戸内リトリート 青風」。もともとは、
日本を代表する建築家、安藤忠雄氏が
設計した美術館とゲストハウスだった。

text:Yoko Yoshida